

5. 具体施策

(1) 施策一覧

国・県計画及び盛岡市の課題，施策の方向性を踏まえ，本計画の具体施策を下の表のとおり設定します。

基本方針	番号	具体施策
【基本方針1】 自転車を利用しやすい環境整備	1	自転車ネットワーク計画に基づく自転車走行空間の整備
	2	地域のニーズに応じた駐輪場の整備
	3	盛岡市自転車条例に基づく放置自転車対策の実施
	4	自転車走行空間整備箇所における「普通自転車歩道通行可」の規制解除の検討
【基本方針2】 自転車事故のない 安全で安心な社会の実現	5	幅広い世代への交通安全教育の実施
	6	自転車のルール・マナーに関する指導啓発活動
	7	損害賠償責任保険等の加入促進
	8	季節・天候に合わせた適切な自転車利用の周知
	9	通勤・通学ルートを中心とした安全対策
【基本方針3】 自転車が暮らしの中に 定着するための取組み	10	自転車通勤の促進
	11	自転車活用推進に関する広報啓発
	12	貸し自転車事業の充実
	13	サイクルツーリズム等の推進
	14	日常業務での自転車活用の検討

具体施策一覧

(2) 施策内容

基本方針1. 自転車が利用しやすい環境整備

利用環境の整備は自転車の活用推進に向けた基本であり、快適な利用環境を創出することの他に、まちの機能や景観の向上にもつながります。

このことから、自転車や歩行者が安全で安心して利用できる環境を創出するため、自転車走行空間の確保や駐輪場の確保等の環境整備を図っていきます。

施策1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車走行空間の整備

〇盛岡市自転車ネットワーク計画に基づき、整備優先度の高い路線から自転車走行空間の整備を進めていきます。また、自転車ネットワーク計画の路線や整備手法の検討にあたっては、自転車活用推進計画の方向性を反映するものとします。

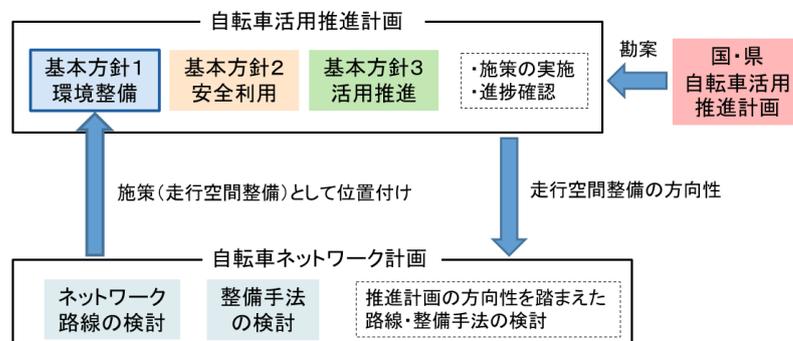
(実施主体：国、岩手県、盛岡市)



市内の自転車走行空間
(盛岡市大通)



盛岡市自転車ネットワーク計画路線
出典：盛岡市資料



※自転車ネットワーク計画に記載のない項目については、安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(国交省・警察庁)に準じて検討する。

盛岡市自転車ネットワーク計画との関連性

施策2 地域のニーズに応じた駐輪場の整備

自転車利用者の利便性の向上及び公共の場所としての機能確保を図るため、地域のニーズに応じた駐輪場の整備を検討します。

○放置自転車が多いエリア等における駐輪場設置の検討

(実施主体：盛岡市)



盛岡市道路上に整備した無料駐輪場（盛岡市大通）

○パーキングチケット制駐車帯の廃止による駐輪スペースの確保の検討

(実施主体：盛岡市，警察，地元商店街)



パーキングチケット制駐車帯
(盛岡市大通)

施策3 盛岡市自転車条例に基づく放置自転車対策の実施

「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例」
 (平成20年4月1日施行)に基づき、放置自転車対策を実施します。

○放置自転車の撤去

(実施主体：盛岡市)



自転車等放置禁止・放置規制区域

放置自転車の撤去作業

出典：盛岡市資料

○ポスター・路面標示等を活用した放置自転車防止に関する啓発

(実施主体：盛岡市)



放置自転車に関する啓発ポスター

放置自転車防止の路面標示

出典：盛岡市資料

(盛岡駅西口)

施策 4 自転車走行空間整備箇所における

「普通自転車歩道通行可」の規制解除の検討

○自転車走行空間整備箇所において歩行者と自転車の通行位置を明確に分離するため、現地の交通状況等を勘案したうえで、歩道の「普通自転車歩道通行可」の規制解除について検討します。

(実施主体：警察、道路管理者)



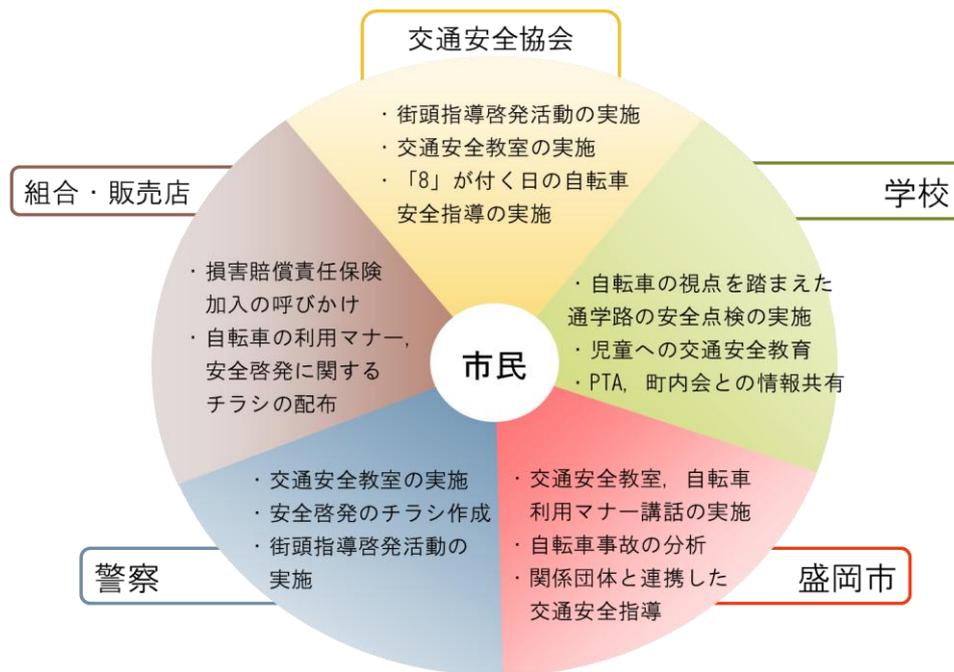
自転車走行空間と規制標識

(盛岡市高松)

基本方針2. 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

自転車が車両として守るべきルールの周知やマナー向上を図り、自転車・歩行者・自動車が互いに尊重しあう安全で安心な交通環境を目指します。

また、交通安全施策の実施に当たっては、各々の活動がより効果的なものとなるよう、行政・警察・民間団体・自転車販売店等で連携・情報共有を図るとともに、市民と協同で取り組んでいきます。



交通安全施策の実施イメージ

施策5 幅広い世代への交通安全教育の実施

交通安全意識の向上には、継続的な安全教育を実施することや、他の交通手段への思いやりをもつことが重要です。このため、関係機関で役割分担し、幅広い年代に切れ目なく交通安全教育を実施することで、自転車・自動車・歩行者それぞれの交通安全意識の醸成を図ります。

○幅広い世代を対象とした交通安全教育の実施

(実施主体：盛岡市、警察、盛岡交通安全協会)



交通安全教室の実施状況

出典：盛岡市資料



交通安全講話「落語で交通安全」

盛岡交通安全協会では、落語を楽しみながら交通安全を学ぶ「落語で交通安全」を開催しております。昨年は55回3500人を対象に各地で開催されました。問合せは盛岡交通安全協会まで！

「落語で交通安全」

出典：盛岡交通安全協会広報誌

○シミュレーターを活用した運転講習

(実施主体：警察、盛岡交通安全協会)



幼児を対象とした自転車運転の
シミュレーション

出典：盛岡交通安全協会 HP



ドライバーへの運転指導

出典：盛岡東警察署 HP

参考Ⅳ：令和元年度の交通安全教室の実施状況（市・くらしの安全課実施分）

実施主体 対象	専門員対応		交通指導員のみ		専門員・指導員		交通公園		その他		合計		概要
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
幼稚園	31	3,907	0	0	3	116	3	127	0	0	37	4,150	
保育園	103	7,179	4	150	8	343	8	204	2	76	125	7,952	
小学校	0	0	6	526	50	11,665	12	847	2	605	70	13,643	
中学校	0	0	16	3,279	3	372	0	0	0	0	19	3,651	
高等学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支援学校	0	0	0	0	5	187	1	12	0	0	6	199	
児童センター 児童館 子供会	10	589	1	10	3	110	0	0	1	115	15	824	
高齢者	14	348	0	0	0	0	0	0	0	0	14	348	
その他 (行事等)	3	117	0	0	0	0	0	0	9	1,666	12	1,783	
合計	161	12,140	27	3,965	72	12,793	24	1,190	14	2,462	298	32,550	

※このほか、市交通政策課では市内の高校・専門学校生を対象とした自転車利用マナー講話、警察では小中学生・高校生を対象とした交通安全指導を実施しています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施学校数	1校	2校	7校	13校	9校	3校
対象生徒数	※	※	約2,900人	約5,500人	約3,200人	約600人

※は人数を把握していない

高校・専門学区制を対象とした自転車利用マナー講演の実績
(令和2年度は新型コロナウイルスの影響で実施回数が減少)

○講話の内容

- ・ 自転車事故の事例紹介
- ・ 自転車保険の紹介
- ・ 自転車の通行ルール・利用マナーについて
- ・ 盛岡市の自転車事故データの紹介



自転車利用マナー講話の様子

施策6 自転車のルール・マナーに関する指導啓発活動

自転車が守るべき通行ルールや利用マナーを学校や一般企業等に対して周知・啓発していくことで、自転車・自動車・歩行者が互いに尊重し合う安全で安心な交通環境を目指します。

○自転車の通行ルールや利用マナーに関する啓発活動

(実施主体：盛岡市、警察、学校、自転車組合)



市内の高校・専門学校を対象とした
自転車利用マナー講話
出典：盛岡市資料



自転車通行ルールの啓発ポスター
(市内の学生と連携して作成)
出典：盛岡東警察署資料

○街頭での指導啓発活動

(実施主体：盛岡市、警察、盛岡交通安全協会)



街頭での指導啓発活動
(警察、盛岡交通安全協会、盛岡市)
出典：盛岡交通安全協会 HP

施策7 損害賠償責任保険等の加入促進

○近年、自転車利用者が加害者となる事故の損害賠償において、加害者側に高額な賠償命令がでていることなどから、加害者の経済的な負担を軽減するため、交通安全教室や自転車販売時等、様々な機会を活用して損害賠償保険の加入促進を図ります。

(実施主体：盛岡市、警察、学校、自転車組合)

自転車向け保険のパンフレット

出典：公益財団法人 日本交通管理技術協会

(自転車等の利用者等の責務)

第4条 自転車の利用者及び所有者は、自転車の定期的な点検及び整備並びにその利用する自転車に関する交通事故により生じた損害を賠償するための保険又は共済（以下「自転車保険」という。）への加入に努め、市長が実施する施策に協力しなければならない。

(自転車の小売を業とする者の責務)

第8条 自転車の小売を業とする者は、自転車の販売又は修理に当たっては、自転車の利用者又は所有者に対し、当該自転車の防犯登録の勧奨並びに自転車の定期的な点検及び整備、自転車保険への加入、自転車の安全利用並びに自転車の適切な廃棄及び再利用に関する啓発に努めるとともに、市長が実施する施策に協力しなければならない。

第9条 学校の設置者は、自転車の安全利用及び自転車等の放置防止のため、次に掲げる事項の実施に努めるとともに、市長が実施する施策に協力しなければならない。

(3) 自転車保険への加入及び自転車の安全利用に関する啓発

盛岡市自転車条例（抜粋）

施策8 季節・天候に合わせた適切な自転車利用の周知

○冬季期間は路面が凍結し滑りやすくなることや、除雪作業によって自転車走行空間に雪が堆積することから、自転車の利用は大変危険です。そのため、冬季期間における自転車から公共交通への転換といったように、季節や天候に合わせた適切な自転車利用を呼びかけ、自転車事故の防止に努めます。

(実施主体：盛岡市、学校)

冬こそ、快適に通勤しよう

本格的な寒さが到来する季節。自転車やバイクからマイカー通勤に切り替える人も多く、通勤や通学の時間帯は渋滞に拍車がかかります。渋滞緩和と地球温暖化防止のため、できる範囲でバス・鉄道を利用しましょう。

【問】
交通政策課
☎626-7519

バス・鉄道 おすすめポイント①
市街地の朝は道路渋滞が著しく、市内では通常期の平均時速が25.6km/hのところ、冬期には13.5km/hという測定結果も。通勤時の自家用車の乗車人数は平均1.2人^{※1}。たくさんの人を運べるバス・鉄道の利用が渋滞緩和につながります。

バス・鉄道 おすすめポイント②
車の利用を1日10分控えると、テレビの視聴を1時間控えた時の45倍^{※3}も二酸化炭素の排出を削減できます。バス・鉄道は、環境にやさしい乗り物です。

冬の自転車利用は控えましょう
積雪・凍結時の自転車利用は危険がいっぱい。また圧雪になっているからといって、自転車で車道を走行するのは、渋滞の原因になるだけでなく、転倒によるけがや事故につながります。

次のホームページを参照
※1 岩手河川国道事務所
※2 環境省 ※3 国土交通省

活用しよう！
バスロケ

盛岡市バスロケ

バスの時刻と接近状況をお知らせするのが、市内80か所のバス停に設置しているバスロケーションシステム。スマートフォンからは、乗りたいバスがいくつ前のバス停まで来ているかも確認することができます。ぜひご利用ください。

冬季期間の公共交通利用に関する広報啓発

出典：広報もりおか

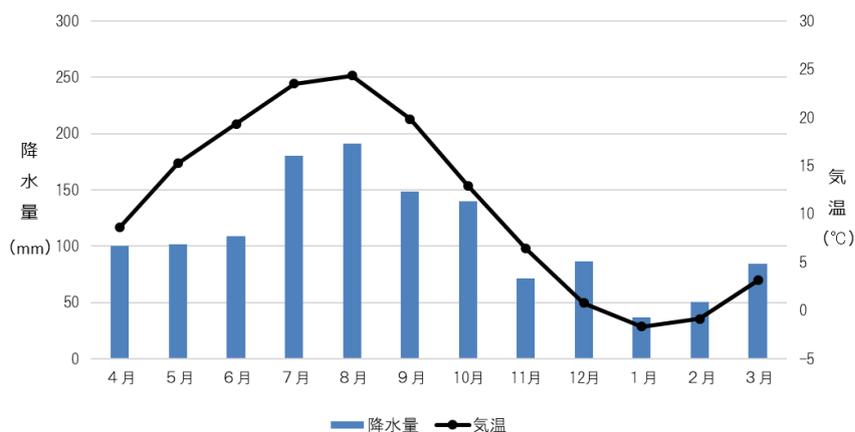


冬季期間の公共交通利用を呼びかける CM

出典：盛岡市資料

参考Ⅵ：盛岡市の冬季期間の気象及び事故状況について

盛岡市は冬の寒さが厳しく、12月～2月の月平均気温（平成22年度から令和元年度の10年間の平均）は0℃以下となっています。また、市全域が豪雪地帯に指定されており、11月中旬から3月下旬頃は積雪により路面状況が悪化します。このことから、冬季期間の路面状況に応じて、適切に自転車からの移動手段の転換を図る必要があります。



盛岡市の月平均気温・月平均降水量（平成22年度～令和元年度）

出典：岩手県自転車活用推進計画を基に作成

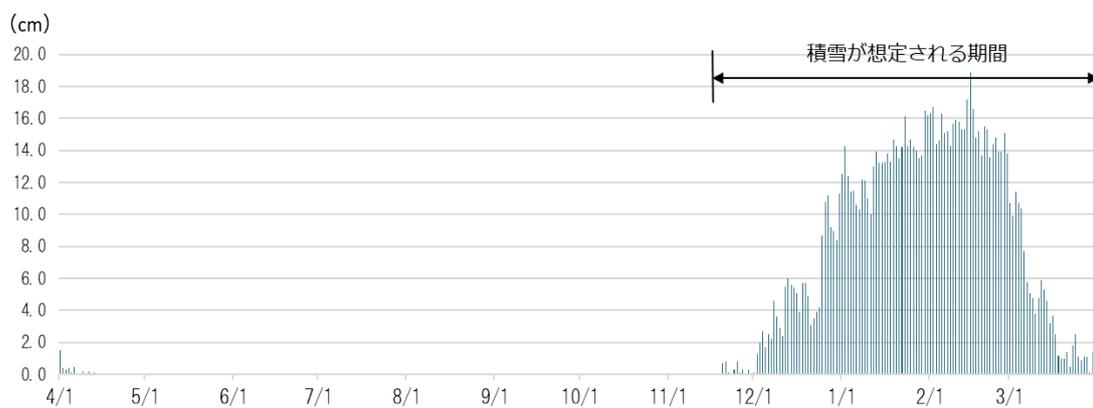


豪雪地帯指定状況

出典：国土数値情報豪雪地帯データ



積雪時の状況（盛岡市）



盛岡市の平均最深積雪深(平成 22 年度～令和元年度)

出典：岩手県自転車活用推進計画を基に作成

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計
事故件数(年間)	65	59	55	47	37	23	38	25	21	18	32	420
冬季事故件数(12月～3月)	6	14	7	2	3	2	6	3	0	4	2	49
冬季事故割合(%)	9.2	23.7	12.7	4.3	8.1	8.7	15.8	12.0	0.0	22.2	6.3	11.7

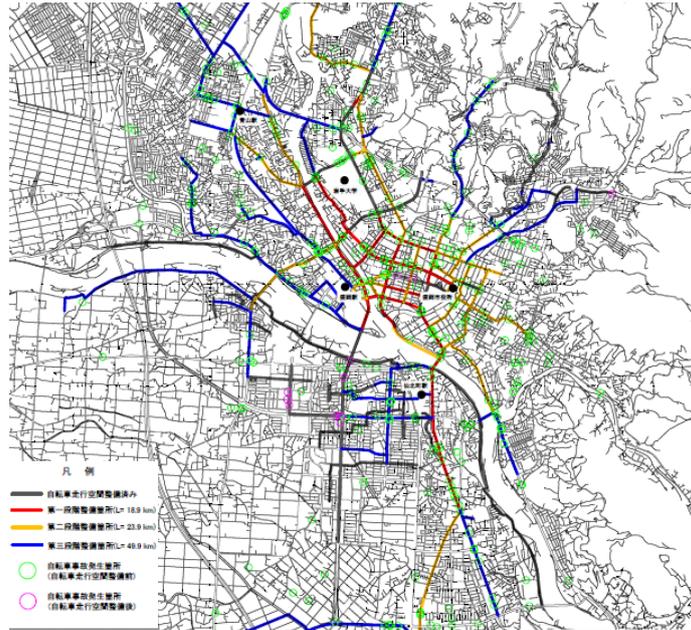
盛岡市の冬季の事故件数(H21～R1)

出典：岩手県警察本部交通部提供データを基に作成

施策9 通勤・通学ルートを中心とした安全対策

○事故分析結果や通勤・通学ルートの安全点検を踏まえ、関係機関と連携しながら対策を検討します。

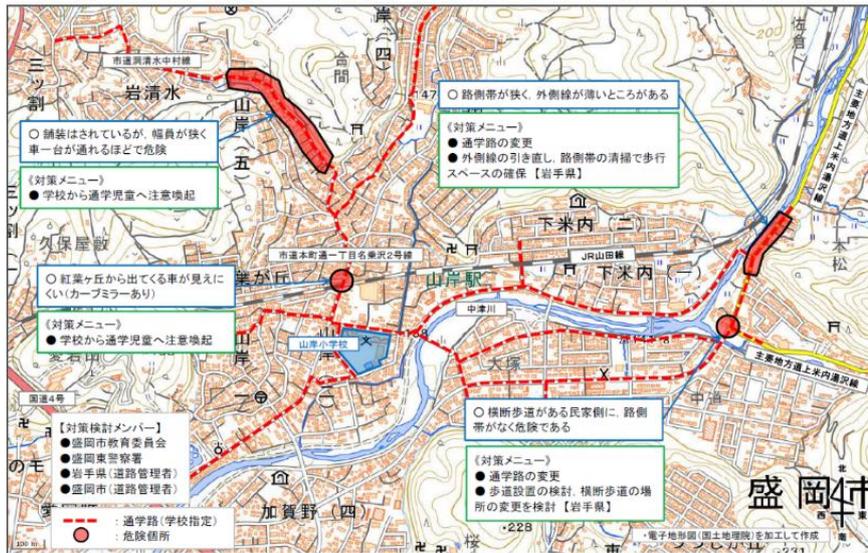
(実施主体：盛岡市、警察、学校)



自転車事故マップ

出典：盛岡市資料

岩手県 盛岡市 山岸小学校校区 (令和元年度 通学路合同点検 要対策箇所)



通学路の安全点検の実施結果

出典：盛岡市資料

基本方針3. 自転車がくらしの中に定着するための取組み

自転車は、手軽に利用できる、環境への負荷がない、観光との相性が良い、健康に良い等、他の交通手段には無い特徴を有しており、自転車の活用を推進していくことで、渋滞緩和、環境負荷の低減、観光推進、健康増進等につながります。また、自転車利用の際は他人との接触が少ないため、今般の感染症対策としての利用も期待できます。

このことから、通勤、観光時の回遊、健康づくり、サイクリング等多様な自転車利用を推進するため、関係機関・民間事業者等と連携しながら、自転車を利用する動機づけや、多様な自転車利用を推進するための環境づくりを実施していきます。

施策10 自転車通勤の促進

○通勤時の交通手段を自転車に転換することで、通勤時の渋滞緩和につながるほか、人と接触する機会を減らし、感染症の拡大防止につながります。

そこで、自転車通勤の導入に対する事業者のニーズ・課題等を整理し、事業者への支援について検討するほか、自転車通勤のメリットについて周知します。

また、市職員に対しても、自転車通勤の促進を図っていきます。

(実施主体：盛岡市、民間事業者)

地域課題にもグッ!

自転車通勤で渋滞緩和! 被験者募集!

～自転車通勤で渋滞緩和! 健康増進 CO2削減!～

最近おなか回りが気になっている方、同僚や家族から「あなたメタボなんじゃない?」もしくは「ヘビメタ?」などと疑われている方、運動をしたくても忙しくて時間がとれない方...

とってもいい方法があります。それは、自転車通勤です!

交通政策課、保健所健康推進課及び環境企画課は、協働して、自転車利用促進と健康増進(特にメタボリック対策)及びCO₂排出量の削減に取り組めます。職員のおさんから参加を募り、次のプログラムを実施していただき、その経過と効果をPRしていきます。

美しい心と体、そして未来の環境がすぐそこ...。どしどしご応募ください!

期間：6月下旬～10月末

健康指導：事前事後の面接、月1回程度の体脂肪や血圧・腹囲測定。「ヘビメタ」の方は、保健師・栄養士によるマンツーマンの親身な健康指導が受けられます。※詳しくは、別紙のスケジュール表をご確認ください。

説明会：6月13日(金)午後3時 市保健所1階フレイルーム

応募条件 応募の対象は、次の条件にあてはまる全職員です。
募集は10名程度。どしどしご応募ください!

①肥満を解消したい方(たとえばBMI 25以上の方)やメタボが心配な方
②通勤距離が4km以上で、自転車通勤する方
※活動方法が変更になる場合、職員様に届出が必要になります。

※BMIの計算方法は... 体重(kg)÷身長(m)²÷身長(m)

職員向けの自転車通勤キャンペーン(再掲)

出典：盛岡市資料

2 自転車通勤制度導入のメリット

2.1 事業者のメリット

(1) 経費の削減

○ 通勤手当や固定経費などの削減につながります

自転車はクルマや公共交通機関に比べて通勤にかかる費用が少ないため、通勤手当の削減につながります。また、クルマから自転車通勤への転換が図られることで、社会や自転車乗場の維持にかかる固定経費などの削減につながります。

トピック

○自転車通勤制度により、従業員一人当たりの通勤費用削減額は年約5.7万円
○さらに固定経費が年約100万円削減された事例も

自転車通勤を推奨している事業者を対象とした調査より、従業員一人当たりの通勤費用(固定経費)が年約5.7万円削減という結果が出ています。

また、ある事業者において、通勤のために借り上げていた駐車場がなくなることで、年間で約100万円の固定経費が削減されたという事例もあります。

※1 自転車通勤による経費削減効果の例
※通勤費用削減額：通勤費用削減額があったと想定した。② 従業員の平均通勤手当を使用
【自転車通勤を推奨する事業者アンケート調査より】

通勤費 一人当たり 毎月 5.7万円削減 (従業員100名)	固定経費 年額 約100万円削減
--	------------------------

自転車通勤導入に関する手引き

出典：国土交通省 HP

施策 11 自転車活用推進に関する広報啓発

○自転車利用のメリットをはじめ、サイクルポートの位置、自転車走行空間の整備状況等の情報を発信することで、自転車を利用するきっかけを生み出し、自転車の活用の推進を図ります。

(実施主体：盛岡市、盛岡自転車会議)

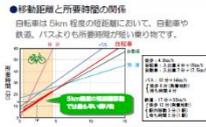
自転車通勤をスズメる理由

1 スイスイ快通で、時間も安定している
 クルマ通勤の場合、交通事故が発生して遅延の恐れがある。また、雨などの天候変化による遅延など、いつより遅延の恐れがある。自転車なら渋滞の影響がなく、遅延の恐れも少ない。移動時間もほとんど変わりません。

2 通勤時間がタイムに限り、健康に！
 運動をしながら通勤は、生活習慣病やがんの予防に効果的。通勤時間が短くなるなど健康面で良い効果がある。自転車通勤に切り替えることで、日々の運動不足が解消し、ダイエットや生活習慣病の予防に効果的。

3 車庫にもお財布にもやさしい乗り物
 自転車は、二酸化炭素(CO2)や排気ガスを排出しない、環境にもやさしい乗り物。また、年間費用は約4万円以内で済む。お財布にもやさしい乗り物。

4 新たな職場につながる
 自転車に乗れば、景色や空気の匂い、自分のペースで進むことも、自分の体感にチャレンジすることも...。サイクリングの楽しみ方は無限大です！通勤だけでなく、週末の新たな楽しみにつながるかもしれません。



まずは“レンタサイクル”から手軽に始めてみよう♪

●普通自転車・電動アシスト付き自転車
 ●貸出場所・返却場所 (市内8か所)
 JR宇都宮駅西口駐輪場、JR宇都宮駅東口第1・第2駐輪場、JR宇都宮駅西口駐輪場、JR宇都宮駅東口駐輪場、JR宇都宮駅西口駐輪場、宇都宮駅東口駐輪場、宇都宮駅西口駐輪場、宇都宮駅東口駐輪場、宇都宮駅西口駐輪場

●スポーツバイク
 ●貸出場所・返却場所
 サイクルステーション (JR宇都宮駅西口)
 ●利用料金
 4時間以内 510円、1日 1,020円
 ●貸出時間
 午前7時～午後7時 (サイクルステーションの利用時間は午後8時まで)

自転車通勤をサポートする市の取組

●サイクル・アンド・バスライド用駐輪場
 自転車とバスを同時に利用できる駐輪場を整備しています。

●健康ポイント事業 (平成30年4月1日より開始)
 「歩く」「自転車に乗る」といった運動や身体活動の増加を促す。健康ポイントに設置された自転車は、駅構内や駅周辺でサービスが受けられます。

●自転車走行空間
 自転車が安全に快適に走行できる道路環境を創出しています。

●自転車の駅 (休憩スポット)
 コビエンスストアを中心に、自転車利用者の休憩スポットとして「自転車の駅」の設置を進めています。

自転車通勤啓発のパンフレット
 出典：宇都宮市 HP

自転車通勤に挑戦!

効果検証
 通勤時間短縮効果、健康効果、環境効果など、自転車通勤のメリットを詳しく解説しています。

食事の傾向
 自転車通勤者は、健康的な食生活を送っている傾向があります。

CO2排出量の削減
 自転車通勤は、CO2排出量を削減する効果的な手段です。

あなたはメタボリックシンドローム?
 自転車通勤は、メタボリックシンドロームの予防に効果的です。

右の実験結果を参考に、自転車通勤で脂肪メソ!

自転車通勤は、日常生活に組み込める運動習慣。そして、地球環境を考える交通です。

健康増進に関するチラシ
 出典：盛岡市資料

施策 12 貸し自転車事業の充実

日常的な市民利用や観光時など、多目的な自転車利用を推進していくため、民間事業者と連携しながら事業周知等を実施することで、シェアサイクル・レンタサイクルの利用促進を図っていきます。

(実施主体：盛岡市，盛岡観光コンベンション協会，民間事業者)

○レンタサイクル利用促進策の実施



駅前地下駐輪場レンタサイクル

出典：株式会社 FP ホームサービス HP
(市営駅前駐輪場指定管理者)



観光協会レンタサイクル

写真：公益財団法人
盛岡観光コンベンション協会

○国の動向を踏まえたシェアサイクル事業者への支援の検討



民間事業者で実施しているシェアサイクル

参考Ⅶ：盛岡市内で利用できるシェアサイクル

盛岡市内では「HELLO CYCLING」のシェアサイクル(電動アシスト自転車)を利用することができます。

「HELLO CYCLING」のシェアサイクル(電動アシスト自転車)は 24 時間利用可能であり「HELLO CYCLING」のロゴが掲示された指定のサイクルポートであればどこでも返却することが可能です。

サイクルポートは、令和 2 年 12 月末時点で盛岡市内に 4 か所設置されており、ウェブサイトから近くのサイクルポートを探して予約ができます。また、クレジットカード等の IC カードを登録すると、次回から予約なしで利用することも可能です。

○利用料金 100 円/15 分 ・ 1,500 円/12 時間



施策13 地域資源を活かしたサイクルツーリズム等の推進

盛岡市内及び盛岡広域圏は、豊かな自然環境や歴史的な街並み等の地域資源を有しており、関係団体や周辺地域と連携したサイクルツーリズム※やポタリング※の推進を図ることで、自転車を通じた観光来訪の促進や地域の活性化を目指します。

※サイクルツーリズム・自転車を活用した観光のこと。

※ポタリング・目的地を特に定めず気分や体調に合わせて自転車で走ること。

○地域資源を活かしたサイクルルートの設定・周知

(実施主体：盛岡市、盛岡観光コンベンション協会、盛岡自転車会議)



2017年版「宇都宮自転車マップ」

出典：宇都宮市ホームページ

○既存のサイクリングルートを活用・PR

(実施主体：岩手県、盛岡市、盛岡観光コンベンション協会)



盛岡矢巾自転車道

参考Ⅷ：盛岡矢巾自転車道

○路線名：一般県道盛岡矢巾自転車道線 ○延長：29.9km

○市町村：盛岡市，雫石町，滝沢市，矢巾町

起点 繫スミングスクール跡



諸葛川に架かるみつや橋



太田橋 — 明治橋間



南大橋 — 盛岡赤十字病院間



徳田橋の自転車専用橋



都南大橋 — 徳田橋間

施策 14 日常業務での自転車活用の検討

自転車は他の交通手段にはない機動性を有しており、日常業務中の移動手段として積極的に自転車を活用することで、移動時間の短縮による業務の効率化が期待できるほか、災害時には迅速な対応が期待できます。このことから、関係機関と連携しながら、業務の中での自転車の活用を検討し、周知に努めます。

(実施主体：行政機関)



盛岡市庁舎配備の公用自転車(再掲)